

11月30日（日）

晩秋の日曜日。第18回鈴木マサホ研修旅行会。朝、東一条が集合場所、今回は遅刻する人もなく、いつものように明星観光バスで8時30分に出発。名神東インター チェンジから新名神に。信楽から甲賀を抜けて、鈴鹿トンネルを過ぎる1時間半で亀山市は東海道53次の宿場町、関宿へ。関宿は、東海道の往時の面影を唯一残す歴史的町並みとして、昭和59年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されていて無電柱化されて看板も配慮されている。

ボランティアのガイドさんも活躍されて、江戸時代にタイムスリップした町並み。屋根瓦や銅版のトユの設置など、住民の協力がなかつたら町並み保存はできないだろう。およそ1時間ほど散策、11時過ぎ伊勢路を鳥羽に。エクシブ東急で懇親会。美味しい中華料理を食べながら、市政報告やみなさんから市政への要望をいただく。その後は、お風呂に入る人やカラオケを楽しむ人など思い思いに秋の午後を過ごしていただき、帰途は、復活した伊勢名物「赤福」や海産物をお土産に、途中亀山インターで渋滞に巻き込まれたが、午後8時前、無事に帰京。それにしても新名神が開通して時間が短縮されたのにはびっくりした。ご参加いただいたみなさん、ありがとう！

11月29日（土）

朝10時からわが家のお向かいの井上修一さんの告別式。地蔵盆のときや防災委員として活躍されて町内の諸々のことのまとめ役でお世話になった。急逝が信じられない。心よりご冥福をお祈りいたします。

昼前、社団法人鴨沂会の理事会と昼からは教養講座。京大名誉教授で歴史学者の上田正昭先生が「千年の都—京都の歴史と伝統」という題で講演。上田先生は、京大卒

業後、鴨沂高校で教鞭をとられていたこともあって教え子だという人も何人か来られていた。平安京が出来たときのこと、東京遷都のこと、時代祭のこと、京都の文化を創った人々のこと、源氏物語千年紀事業のことなど、前日ソウルから帰られた直後にもかかわらず、お元気にお話をいただき質問にもお答えいただいた。ありがとうございました。

夜は、わが事務所1階のカルチャーガーデン「吉田の森」で、「ほろよいの夕べ落語とボジョレヌーボー」。京大落語研究会の葵家松狐舌による「口合小町」。松狐舌（ショコタン）さんは、なんと二十歳の可愛いお嬢さん。飲み助のおっちゃんと嫁さんが駄洒落を駆使して仲直りする20分ほど落語だが、いや参りました！お見事！その後は、ソムリエになったモーちゃんが、ボジョレヌーボーのいわれなどウンチクを傾けながらの試飲会。元気な女性たちで盛り上がっていました。

11月28日（金）

普通決算特別委員会4日目。都市計画局との審議。ちょうど昨年9月に新景観政策が施行されたこと也有って、多くの委員から関連した質問が多い。また予算に計上されていた京都駅南口立体横断施設の建設については全く事業展開が出来ていないこともあり問題だ。また京町家のこと、耐震改修、公営住宅と改良住宅のこと、歩いて楽しいまちづくり、バリアフリー化のことなどまちづくりに関して課題がそれぞれの立場で質疑。ぼくは、制限時間17分間で、新景観政策の特に屋外広告物の規制について、京都府広告美術協同組合のアンケートや立命館大学政策科学部の高村学人ゼミの「京都市の新屋外広告物条例は遵守されるのか」をテキストに、新景観政策につ

いて「ウンチク」を傾ける。京都に相応しい広告とはどういうものか、いかに関係者や市民に協力を求めるかが今後の課題。また崇仁地区の改良住宅の建て替えや管理、今後のまちづくりのことについて質疑。夕方6時前までみっちりと各委員と理事者の間で質疑が交わされた。理事者も大変だろうが、座っているのも腰が痛いよーー昼、かみさんから、わが家の前の井上さんのご主人が急逝されたと連絡。うそやろ！夕方、通夜に。信じられない。67歳だったという。そしてその後、とある福祉施設の関係者と色々と相談ごと。

11月27日（木）

午前9時から市役所第一応接室で、民主・都みらい京都市会議員団14人全員揃つて、門川市長に新年度に向けての予算要望書を提出、副市長、理財・総務・総合企画局長らが同席。今枝団長の簡単な挨拶の後、山岸議員が張り切って重点項目について説明。

10時から普通決算特別委員会の3日目の局別質疑は教育委員会。07年度の歳入歳出決算について部長から説明の後、各委員が質疑。ぼくは先日参加した京都府教育委員会の学校評議員ワークショップの感想を述べて、来春から高校の市内・乙訓の通学圏が大きく変わるので、府立高校・市立高校・私立高校のあり方も含めて高校改革について問う。「地域制・総合選抜・男女共学」の高校3原則で育ったぼくは、よかったですと思っているが、特色ある高校を目指すのは良としても、京都市教育委員会と京都府教育委員会の協調もあまりないように思うし、憂慮することも多い。また文科省が発表した全国的には5万件を超えている問題行動調査に関して聞くと、京都市内では、985件。低年齢化しているという。また学校評価制度の取り組みと成果と地

域に開かれた学校づくり、そして過日参加した「民族の文化にふれる集い」などについて質疑。

委員会の3時の休憩時間には、市政記者室に山岸、中野議員を伴って予算要望書を提出したことと重点項目について説明。小さな記事にはなるだろう。夕方6時まで、委員会は続いた。

予算要望書を提出できたので、ちょっとほっこりしたよ。夜は、明日の都市計画局との質疑の準備で、新景観政策、特に屋外広告物関係の書類などに目を通す。

11月26日（水）

普通決算特別委員会。保健福祉局審議の2日目、ぼくは2番バッターで、この1月に棄害肝炎被害救済法ができたこともあり京都市の取り組の状況や、中国ギョウザ事件や汚染米などの食品の安全問題と京都市の検査体制、食の安全についての条例化のこと、また過日の議員研修会での京都産業大学の大槻公一教授の「鳥インフルエンザとその防疫対策について」講演を受けて、新型インフルエンザ対策について、さらに左京保健所の移転問題もあることから今後の保健所の機能やあり方について質疑。新型インフルエンザが流行したらたいへんなことになりそう。危機管理をどうするか、大きな課題。保健福祉局は、旧民生局と衛生局が統合されてできた局なので、多くの議員が児童福祉・障がい福祉、高齢者福祉、介護、保健、医療、衛生面など多くの質疑。保育行政では京都の民間保育園を支えているプール制の堅持が話題になるが、答弁の歯切れが悪い。またホームレスに給付金を渡すのをどうするかなど、政府の対応が未だ分らないので自治体も困っているよ。6時前まで委員会。夕方、地元の吉田で写真館や八つ橋屋の経営をされている先輩らと一献傾ける。酔っ払うことな

く、夜は事務所で明日の教育委員会審議の準備でメモ作り。

11月25日（火）

普通決算特別委員会が二つの分科会に分かれて始まる。第二分科会は保健福祉局から。冒頭に部長から07年度の京都市各会計歳入歳出決算事項別明細書実質収支に関する調書から一般会計、国民健康保険事業と区別会計、介護保険事業特別会計について説明の後、自民、共産、民主、公明の順番のドンと方式で各委員から、生活保護、障害者自立支援、国民健康保険制度、介護保険、保育行政、学童保育などに、福祉や子育て施策について質疑。ぼくは、他都市の政策評価制度も紹介しながら、保健福祉局の事務事業評価結果の意義について質疑。福祉・保健・医療など「ゆりかごから墓場まで」実に多くの事務事業を担っていて496項目について評価結果が出されている。他の政令指定都市では条例もないし、議会に報告されていない都市もあるのだ。また左京で開催されている「こころときめき芸術祭」のことなどに触れながら精神保健福祉事業について、また保健所の役割や現在工事中の北山ふれあいセンター、障害者自立支援法など福祉施策が変わるときの現場の苦労などについて質疑。夕方5時過ぎまで委員会は続いた。

夜は、京都のプロレスのメッカ、KBSホールへ。新日本プロレスの興行。何を隠そう、ぼくは力道山の時代からプロレスファンなのだ。かつては京都府立体育館で、そしてこの10年ほどは西京極の京都市体育館で開催されてきたが、ちいさな会場での開催になって寂しい。新日本プロレス共同企画の富野社長は同志社の先輩、新日本プロレスの火を消さないで欲しい！さて、実はプロレスが好きだという山崎副市長が参戦。花束贈呈でリング上に。蝶野選手と握手。本会議場での固い顔ではなくて

満面の笑み。ぼくも2年前か、リング上で認定書を読んだときは感激の極みだった。

長州力も蝶野も6人タッグでがんばった。リキラリットにヤクザキックも炸裂！

メインは立命館大学出身の棚橋選手がマイクパフォーマンス。ぼくが主催して中西

学選手と獣神サンダー・ライガーを招いてトークバトルをしたのはもう13年前か。

今は廃刊になったが週刊ゴングにも載ったのだよ。

11月24日（月）

3連休の最後の日。朝、吉田山は中腹の大元宮へ。大元宮の祭事。紅葉がきれい。八角形の神殿があり、全国の神さんが祀られているのだ。天神地祇八百萬神（あまつかみくにつかみやおよろづのかみ）とされている。神殿の前には、舞鶴は吉田地区の瑠璃寺から移植され、細川護熙元首相に命名されたしたれ桜「幽斎桜」も根が張って随分伸びた。来年春には花見が出来そう。その後、地下鉄と嵐電を乗り継いで嵐山は嵯峨野に。小雨模様にも関わらず行楽シーズンで嵯峨野は雑踏。風情もないよ。二尊院へ。雨に濡れた紅葉は見事。友人らの大紅葉狩りを除く。軽くビールを飲んで挨拶して市役所に。地下鉄東西線が太秦天神川まで延伸、嵐電に乗り継いだら市内から嵐山往復も早くなった。天神川と浜大津との直行もあるので、大いに地下鉄を利用してください！

午後、ほろ酔い気分で、休みだというのに、市役所へ出勤。ちょっと寒い議員団室で、山岸、中野洋一議員、そしてスタッフの中野涼君と午後7時まで予算要望の作成の仕上げ。ようがんばった！基本政策6項目、行政分野別が159項目、行政区別が55項目。合計220項目かな。夜は、事務所で明日の委員会に向けての事務事業評価や保健福祉局の決算概要を読んだり。

テレビニュースでは厚労省の元次官を殺害した容疑者が出頭して、その動機が「保健所がペットを殺した」という理由だという。唖然とする。

11月23日（日）

勤労感謝の日、ええ天気や。9時前に岡崎公園に。左京区の恒例の秋のふれあいウォーク。波部左京区長を先頭に左京体育振興会やボイイスカウトや医師会など各種団体の協力もあって多数の参加者。ラジオ体操をしていざ出発。疏水から御所の中を通り下鴨神社へ。途中、知人らに挨拶したり喋りながらの気持ちのいいウォーキング、下鴨神社で抜けて洛北カナートでの歯科医師会左京支部の「左京歯のひろば」に。口の中をカメラで見てもらったり、口臭計測、咀嚼力、咬み合わせ力テストなど受け。日頃、吉田歯科に通っていて先生のおかげで、検査の結果はよかったです。

昼、中央市場の恒例の「鍋まつり」、鮮魚のせり場には色々な鍋のコーナーがあり、市民が長蛇の列。また野菜や色々な食材が安く販売されていて、市民で大賑わい。本部テントで海鮮鍋やカレー鍋をご馳走になる。25年前、議員になる前、ぼくは4年間中央市場で働いていたことがあるので、久しぶりに会う中央市場仲間もいて、なつかしい。車で帰途、京都駅経由で帰ったが市バスの運行を守る為に車道の確保なに交通局職員ががんばっていた。ご苦労さん。それにしても行楽シーズンで凄まじい交通渋滞。まいった！

11月22日（土）

久しぶりに何も行事のない土曜日の昼、熊野神社近くのジャズ喫茶「YAMATOYA」の店主、大和屋忠文さんの作陶展がプラムツリーギャラリーで。花背の工房を訪ねた

のは、夏だったか。「YAMATOYA」が開店して38年だとか、作家の五木寛之さんもかっては近くに住んでおられて、エッセイにも出てくる。たまにぼくもほっこりしに行くよ。

天気も良くて、京大では11月祭も開催されていて、模擬店などで賑わう吉田グランドをブラブラ。青春を謳歌していいね。豊田府会議員が事務所に来所、道路明示と廃止の手続きについて相談に。夜は、「十二提灯こども神輿保存会」の直会。世話人や吉田剣鉾保存会のメンバー等10数人が集って、10月11日に巡幸した十二提灯こども神輿の反省会。今年は、京大時計台前に剣鉾と神輿が巡幸できたので吉田の祭りは盛り上がった。夜遅くまでワイワイ。来年も剣鉾を天高く挿そう。腕立て伏せなどトレーニングもちゃんとするぞ！

11月21日（金）

代表質疑の本会議の二日目。共産党の井上、加藤愛議員の登壇のあと、わが議員団から隠塚議員が午前中質問に立つ。財政状況、広告事業、古典の日、地域通貨の発行、中央卸売市場第二市場、左京区の要望などを質問。地域通貨のことはパネルを使って説明をしたがイマイチよく分からんかった。答弁は昼から、そして2度目の登壇になった伏見区の山本ひろふみ議員は、西京極球場を対象に考えると答弁のあったネーミングライツのこと、中学校夜間照明、民間駐輪場の整備と助成、敬老乗車証の金額の所得に応じた細分化、認可外保育施設のあり方について質問。その後、公明党の木村、平山議員が質疑。早口で原稿を読み上げるだけの某議員の質問にはちょっと閉口したな。

夕方は、連合京都の議員フォーラム政策研修会。日本労働組合総連合会（連合）事

務局長の古賀伸明さんが、講師となって「当面する労働運動の課題と連合の役割」と題して講演。60人ほどの京都の自治体議員や組合役員が参加。連合が発足して20年か、格差社会、ワーキングポア、ワーク・ライフ・バランスのこと、新たな心の連帶・絆を再構築する大切さや地域での共助の大切さなどを語り、すべての働く者の連帶で、ともに働き暮らす社会をつくろう、と熱弁をふるわれた。ええお話をした。懇親会には麻生副知事、門川市長らも参加。連合京都議員フォーラムの副事務局長としてぼくが中締めの挨拶をしてお開き。

11月20日（木）

ちょっと寒い。本会議。冒頭に過日経済総務委員会で不採択にした請願について、共産党の議員が反対討論。起立表決で不採択に賛成。星川副市長からは市長ら給料カットなどの追加議案の説明。

午後1時から本会議が再開。KBS京都放送の中継がある代表質疑。自民党の橋村、寺田、西村議員、そして共産党の井坂議員が順番に登壇。それぞれが京都未来まちづくりプランに関する財政問題や福祉や教育や中小企業支援策や市政の諸課題について一般質問。テレビ中継のためライトが眠気を誘うが、メモを取りながら聞く。なんといっても市長の踏み込んだ答弁は、京都市内の同和地区にある15ヶ所にあるコミュニティセンター（旧隣保館）から市職員を引き上げて廃止して市民活動の施設として再発足させること。現在、「同和行政終結後の行政のあり方総点検委員会」議論をして一定の指向性が出ているところだが、思い切った答弁だった。ぼくが、隣保館を地域に開かれたものにするために名前もコミュニティセンターとして変えて屋内体育館など、多くの市民が活用するべく本会議で訴えたのは、1996年のこ

と。(ここをクリックしていただいたら 96 年 5 月市会のぼくの質問の議事録が読めますよ)。「自縛からの脱却を!」と行政責任と行政依存という言葉を使って、制度疲労を起こしていた同和行政のあり方に警鐘を鳴らして、あれから 10 数年。今後の方に向に注目したい。

夕方、同志社大学は文学部文化学科文化史専攻の先輩になる森田さんがオーナーの「羅生門はんにや」へ。野生鳥獣の研究をしている京都大学大学院農学研究科の高柳敦氏と意気投合。熊、鹿、猿などの話。山科での猿害の対応とか京都府の熊対策など、色々と取り組みを聞かしてもらう。ええ勉強になりました。今度、美山へ鹿の肉を食べに行こう!

11月19日(水)

朝 9 時から議員会。理事から今後の日程などの説明。そして 21 日の本会議で代表質疑に立つ隱塚議員と山本ひろふみ議員から、質問要旨について説明。

何人かの議員が述べたり。ちょっとダブっている質問項目があり、事前にもうちょっと調整が必要だな。また市会事務局から 07 年度の決算の説明と総務局からは市長、副市長、部長・課長らの給料カットの追加議案の説明。市長は、15 パーから 20 パー、副市長は 10 パーから 12 パー、部長・課長は 5 パーカット。えらい厳しいよ。我々、議員も歳費のカットの話が出てくるね。覚悟しておこう。

それから夕方まで、議員団のほぼ全員のメンバーが会議室に籠もって、この間作成していた予算要望について一項目づつ点検作業ぼくが座長となって、各議員が意見を述べて、表現が分りに箇所の手直しや、実現性のないものなどを整理。各分野別と各行政区別に仕分けをして最後の仕上げにかかる。地域をよく歩いている議員から

は、細かい地域要望も多いのかな？まとめるのはたいへんだよ。

夜のテレビニュースで厚生省 OB が連續刺殺されるニュース。年金問題での政治テロか恨みか怨恨か、不気味だ。断じて許されることではない！

11月18日（火）

11月市会定例会の始まり。冒頭の本会議。星川副市長が補正予算や各議案の説明と07年度の決算の概要や各行政部門の実績の報告など淡々と提案説明。この市会は、07年度の決算審議とともに、財政のこと、コミュニティセンター（旧隣保館）のあり方や同和奨学金・自立促進援助金の返還問題や経済対策などが話題になりそう。終了後、自治労京都市職の橋元委員長等が予算要望書を持って議員団との懇談。

午後は、議員研修会ということで本会議場で、京都産業大学・鳥インフルエンザ研究センター長の大槻公一教授が「鳥インフルエンザとその防疫対策について」講演。大槻教授は、獣医師として1970年代後半から鳥インフルエンザの研究を始められて、ベトナムなどアジア各国の研究者と連携しながら渡り鳥などの研究をされてきた。新型インフルエンザのウイルスとして人に伝染したらえらいことになる。政府や自治体が何が出来るのか、真剣に考えないかんのだが、これでいいのかなと思いつつ、その危機感がぼくには正直、全然ないなあ。

その後、恒例の左京区の保育園関係者、園長会、保育士会、保護者会のみなさんと左京区選出の議員との懇談会。京都の保育行政は多くは民営保育園が担い、プール制という独自の方式で財政的な支えをしているが、このプール制の堅持が今後の最大の課題。障害児保育や夜間保育や延長保育の必要性と財政援助が語られ、また若い保護者からは子育てに保育園が果たす大きな役割について訴えがあった。大家族制が

失われて、保育園は地域における子育て支援の拠点になっているが、保育料などの引き上げがないように委員会でも議論をしよう。夜、吉田神社境内での今年最後の剣鉾の練習を見に。来年は4月に再開されるらしい。体を鍛えて、また一人前の剣鉾挿しを目指してがんばろう！

11月17日（月）

朝、9時に議員団室に。部落解放同盟京都市協議会の議長等が来室、この市会で話題になっている、「同和行政終結後の行政のあり方総点検委員会」のことと同和奨学金と自立促進援助金の返還問題やコミュニティセンターのことについて、民主・都みらい議員団と意見交換。ぼくが京都市の制度疲労をおこしていた同和行政について真っ向から本会議で質疑をしたのは1994年と96年の5月市会のこと。そのときの議事録をみんなに再読して欲しいと願う。また藤田敬一さんを招いて、重要性を二人で公開討論会を開催したのは95年だった。あれから十数年経って、特別施策としての同和行政は終結し、交渉もなくなった。言いたい事はあったが、色々と思うところはあって、発言はしなかった。

その後、この間続けている予算要望書作成の作業を延々と続け、ほぼ目途が立った。疲れたよ。

夕方、朋あり遠方より来る。アメリカはロサンジェルスより「カルチュラル・ニュース Cultural News」を編集・刊行している東繁春君が上洛。4年ぶりの再会か。東君は高校時代に広島は呉でベ平連運動に参加していて40年来の友人。27年前に27歳のときにロスに行って、色々な仕事をしていたが、10年ほど前からロスの日系や日本人向けに英字新聞を発行し始めた。発行部数はおよそ600部らしい。

大統領選挙のこと、オバマのこと、アメリカの金融不安のこと、最近の変わり行くアメリカ社会のこと、そして京都の観光政策のことなど、ソプラノ歌手で住職の柱本めぐみさんも一緒に懇談。

11月16日（日）

小雨模様の日曜日。吉田山の美化運動は中止。岩倉南小学校グランドでの左京区総合防災訓練に。倒壊した家屋から救助する活動やバケツリレーで消火訓練、京都府警のロープを使っての雨がシトシト降る中での訓練。行政関係者はもとより岩倉の自主防災委員や消防団のみなさんは雨に濡れながらでたいへんだったろう。テントで見ても寒かった。終了後、知的障害者の施設、社会福祉法人「修光学園」の修光祭りに。保護者やボランティアの人が手伝い。前原誠司衆議院議員と一緒にカレーを食べて、森理事長や友人の保護者の方と懇談。夕方は、韓国料理の店「新羅」に集う人々の集いと題して、歴史認識をテーマに「世界人権宣言60周年と多文化共生」をテーマとして研修会。パレスチナ問題を京大の岡真理さんが、また元総務省国際室長で、「多文化共生推進プラン」を策定された山崎一樹京都市副市長が講演。1948年イスラエルが建国されたことで、この60年なぜパレスチナの人々が難民となり、とりわけガザ地区の人々が抑圧されてきたのか、マスコミが報道しない悲惨な状況や歴史と現状を語った。山崎副市長は京都市会での答弁とは違って率直にカナダはケベック州はモントリオールでの生活体験を踏まえながら、この20年の外国人登録者数を示しながら、政府の多文化共生の推進プログラムや今後の「移民」対策についての考え方を講演。実に刺激的な話だった。

11月15日（土）

昼前、モラロジー研究所の左京支部の事務所の開設を覗いたあと紅葉がきれいな真如堂のお十夜のお練大法要を見学に。近所の知人らが本堂で鉦を鳴らし、お稚児さんや山伏と真如堂の管主さんらのお坊さんの行列。11月5日から十日十夜にわたって念仏会が行われ、その最後の打ち上げのようなものか。観光客も多い。小粥さんと多幸（蛸）串をいただく。我が家の近くには色々な行事があるのだな。紅葉は来週が見頃かな。夕方は、住宅建設会社の大木工務店のグループの会で挨拶。「やる気、元気、大木」とこの住宅建設業界が厳しい状況の中でがんばっているグループ。挨拶をさせてもらって直ぐに退席。祇園は「福住」での鴨沂高校19期会の同窓会に。「福住」の店主の

お住まいはわが事務所の隣。われら鴨沂の19期生は還暦を迎えたジュリーこと歌手の沢田研二と同級生。何年ぶりかに会う同期生や毎年顔を会わせるメンバーが40人ほどの同期生が集合。介護や孫の話で盛り上がる。ぼくは同窓会会长として先日の総会の報告など。みんな還暦や。卒業して43年か。赤いチャンチャコ？を着てハイチーズ。二次会も行って帰宅は久しぶりに午前様。

11月14日（金）

10時過ぎ議員団室へ。予算要望作りを山岸議員と中野洋一議員らと。途中、吉田歯科に走る。昨日、昼食時にすきやきラーメンなるものを食べていたら被せていたものが取れたのだ。ボンドみたいなもので改めて被せてもらう。ゴリゴリされて痛いよ！昼から夕方まで、会議室に籠もって各分野の予算項目をチェック、2期目の山岸議員が事務局長でやる気満々。色々と議論をしながらの作業。ようやく目途がついたか

な。夕方は、民主リベラル労組懇談会の研修会と懇談会。交通関係の組合員さんらとは、観光シーズンの交通渋滞対策や、自治労の組合員とは財政問題と給与カットのこと。また解散・総選挙がいつになるのかなどの話題。その後、事務所では夜遅くまで、民主党のマニフェスト「京都スタイル」や市長選挙のときに提起した「私たちが目指す京都市像」など読み返しながら予算要望書の前文の手直しなど。

11月13日（木）

午前11時から「住みよい京都をつくる婦人の会」の創立40周年記念総会。この会が設立されたのは、1969年（昭和44年）だという。女性の立場から公害問題や消費者運動、環境問題など多彩な取り組みをされてきた。門川市長や前原議員らが祝辞。会長の内藤しげさんは、80歳代だが、壇上での挨拶は原稿もなしに張りのある声でカクシャクとしていていつも感心する。これからもお元気でご活躍を！

午後は、議員会。都市計画、消防、産業観光局からの決算などの説明と自治労、京交、京水労の委員長が職員給与カット問題について議員団との懇談が行われたが、ぼくは冒頭で抜けて、京都府教育委員会の学校評議員ワークショップに鴨沂高校の学校評議員として参加。仏教大学の原清治教授が色々なデーターを使って「効果のある学校論とは何か」という講演。その後、養護学校も含めて29校の府立高校の評議員が3つのグループに分かれて学校評価をどうするか、地域との連携をどうするかをテーマにワークショップ。

活発な取り組みがされている学校も多いが、わが鴨沂高校は近年地域性も薄れてマイチやな。同窓会会長としてもちょっと提言をしてみようかな。夕方は、「きょうと介護保険にかかる会」の懇談会。介護現場の第三者評価などを実施し、また研修

会などを定期的に開催している。ぼくは若い方のメンバーかな。9月市会で後期高齢者医療制度の廃止の意見書を採択したことなどを報告。ヘルパーさんからシップを貼るのは医療行為で出来ないのだということを聞いて唖然とした。そして介護保険を必要としない老後を送ろうという挨拶が身にしみた。

11月12日（水）

議員会の二日目。教育委員会から昨年の主な取り組みについての説明。また東山区の5小学校、2中学校を統合して小中一貫校の新設する校舎建築の工事請負契約、スチューデントシティ・ファイナンスパークについて「まなびの街生き方探究条例」を制定する議案。環境局からは、有料ごみになって手数料が21億円、必要経費11億円だったという決算報告やその10億円を活用してごみ減量の取り組みやプラスティックラリサイクルの推進などしたという報告。さらに東北部クリーンセンターの一の焼却ガス冷却設備更新の工事請負契約の議案説明も。保健福祉局からは福祉や保健分野での主要事業報告の後、北山ふれあいセンターの指定管理者の選定経過、また市立病院がPFI方式による整備事業での21年間にわたる債務負担行為の設定、国民健康保険特別会計は、単年度収支は19億円の赤字で累積総額は104億円。介護保険特別会計は、2億8千万円の黒字。総合企画局は、市政の総合的な推進

と地球温暖化対策が主要な事業。総務局とは不祥事問題や留学生国際交流やなんといつても財政が厳しいということで職員の給与カットが話題になる。夕方、市役所前では交通局、水道局、学校給食、学校職員の組合を含む市役所の職員団体の市労連の決起集会。自治労と共産党系の自治労連と吳越同舟。

給与カット問題が浮上して、緊張感のある集会。さてどんな成り行きになるのか。

11月11日

11月定例市会の告示。各会派が議員会を開催。07年度決算等各議案について各局から説明がある。理財局からは、19年度決算の概要説明。市税収入は3年連続で増加で実質収支4億6百万の黒字だが、公債償還基金から95億円など地方交付税の削減などもあって、今後も厳しい。補正予算は、中小企業金融対策の預託金70億円、国認証にもとづく道路整備など合計95億円。文化市民局からは、07年度の事業報告とともに、「地域改善対策奨学金等の返還の債務の取り扱いに関する条例」の制定について。これはいわゆる同和奨学金を返済するときに、京都市が自立促進援助金として支給し、奨学金の返済にあてるものだが、裁判判決や、同和問題点検委員会の答申などを受けて返還を求められることになった。その免除などの制度を決めるという条例。これは色々と議論を呼ぶだろう。また京都会館の指定管理者が、京都市音楽芸術文化振興財団に選定されたとのこと。建設局からも主な事業の成果についての報告があり、ぼくは、稲荷山トンネル・新十条通が利用されていない現状を言い、料金が450円とは高すぎると指摘し、さらに過日北山はヒノコの鉄の仮桟橋が解体されていることについてコメント。その他、会計室や選挙管理委員会からも決算報告。各議員がそれぞれ質疑もした。

夕方は、連合京都の洛南、洛北、洛東地協のメンバーと今後の議員フォーラムなどをどう進めていくか会議。連合京都が市内地協を結成するということで議員との連携や自治体政策や地域要望をどう実現するか議論。

11月10日（月）

昼から議員団室へ。別室に籠もって予算要望づくり、山岸議員が事務局長となって中野洋一議員と議員団スタッフの中野涼君と喧々諤々。昨年は市長選挙前で予算要望の提出は見送ったが、「私たちが目指す京都市像—新市長に求めるものー」を提示して、門川大作教育長に出馬を要請、推薦を決定したので、その文章や昨年の統一地方選挙のときに掲げた「民主党京都マニフェスト・京都スタイル」を前文にして、さらに2006年秋に提出した予算要望項目を点検し、さらに先日提案された「京都未来まちづくりプランの骨子」を見ながらの作業。また各議員が提出してきた行政区別の地域要望を整理。わが議員団には、北区選出の議員がいないので武田府会議員などにも地元要望をまとめてもらった。夜は事務所にて9月定例市会の報告をまとめた鈴木マサホ市民派議員レポートを発送するべく準備作業。

9日（日）

小雨模様。錦林小学校では岡崎学区の、養徳小学校では養徳学区の自主防災訓練を、また岩倉のグランドで左京区の体育振興会主催のグランドゴルフ大会が開催されていたので駆け足で覗き、消防団や体振の知人等に挨拶。区役所の幹部もそれぞれに挨拶に行かないかんので休日なしでたいへんだね。

午後は、同志社総合政策科学研究所同窓会「総政会」の日。昼過ぎ、同志社ホームカミングデーで今出川キャンパスに。寒梅館での恒例の卒業生交流レセプションでは八田学長らに挨拶して朝原選手の講演会のビラ撒き。おかげで明徳館は立ち見ができる参加者。ゼミの真山教授が対談者となって、朝原宣治選手が「北京オリンピックへの軌跡」と題して記念講演。バトンを投げ上げたときの気持ちとか、怪我をして苦しかったときのこととか、奥野史子さんとの結婚話とか、これから書く修士論文のテ

一マとか、色々な話をフランクに話してもらった。奥野さんも総政の修了生で3年前に講演してもらったこともある。その彼女との銅メダルを取ったときの気持ちを「一緒にやった感」と語り、子どもは水力両用とユーモアを交えたトーク。銅メダルを見せてもらったよ！総会は、ぼくが議長となって淡々と議事を進めて無事に終えて、懇親会も参加者全員にスピーチしてもらって和気あいあいと終えることができて、その後は役員と疲れを労いカラオケで発散！

8日（土）

午後、聖護院御殿荘で開催されていた原爆展に。峠三吉の詩やヒロシマ・ナガサキの惨状のパネル展。近所の人も見学に来られていた。

そして岡崎は法務省などが主催団体の「みやこめつせ」での世界人権宣言60周年ヒューマンフェスタに。午前中は、桑田真澄さんが講演だったので多くの参加者があったらしい。シンポジウムや色々な人権団体のブースが並んでいたが、ぼくの目的は、映画「月はどっちにている」、そして京都を舞台にした映画「パッチギ」のプロデューサー、李鳳宇（イ・ボンウ）さんの講演を聞くこと。生い立ちやフランス留学時代のことや「パッチギ」の制作のときの話など在日コリアンとしての想いを語る。「映画はムービーという動くという意味だが、人の心が動く」という意味のことを結びに話されたのが印象に残る。「パッチギ」は、イムジン河の歌をモチーフに、銀閣寺の参道から京大西部講堂でのヘルメット姿の学生集会の場面が出てきたり、鴨川や円山公園、そしてもちろん東九条の風景も出てきたが、わが青春時代と重なつて涙が出そうになったのだ。李学仁監督のジョニ一大倉が主演だった「異邦人の河」や「詩雨おばさん」の自主上映運動をしたのは1970年代半ばだった。

京都会館第二ホールでは、京都市教育委員会・外国人教育研究会主催の「民族の文化にふれる集い」も開催されていた。今年で17回目になる。よう続けてきたよ。民族学校の児童によるカヤグムの演奏や舞踊、醍醐西小学校アジア部児童による劇「十二支の由来」や平均年齢60歳を超える洛友中学校夜間部のオモニたちの合唱など日本語とハングル語と中国語の混じる集い。多文化共生社会へ一歩づつ前進してきたかな？

7日（金）

午前中、新日本プロレス共同企画の青年が来所。ぼくは力道山の時代からのプロレスファン。2年前に副議長のとき、リングに上がってコミッショナー宣言をしたときは感激の極みだったよ！新日本プロレス共同企画との付き合いも15年は超えるのかな。この間、西京極の京都市体育館で開催されてきたのが、今年は11月25日（火）KBSホールで行うこと。長州力や蝶野選手も来るらしい。行くぞ！チケット希望の方、ご連絡を。

昼前、吉田歯科に。この間治療をしてもらっていた奥歯にカブセ物。これで当分大丈夫かな？帰途、秋の陽射しの中を浄土寺界隈を散歩。障害者地域活動支援センター「楽々堂」や哲学の道の「ギャラリー花いろ」を尋ねて談笑。午後は、事務所でひたすら資料整理など。夕方は、長年養護教育に携わってこられた永井實先生とヒューマンふれあいコンサートの運営委員さんと養護教育や福祉のことを勉強させてもらう。永井先生、長年にわたってご苦労さんでした。

6日（木）

昼過ぎ、梅小路公園に。「一木手づくり市」を見学。この手づくり市は百万遍の知

恩寺境内での手づくり市の姉妹市でぼくの友人たちが主宰者。毎月第一木曜日に梅小路公園で開催され始めてもう2年が過ぎるのかな？手芸品や手づくりクッキーなど200店ほどの店が並び楽しい雰囲気。足裏マッサージをしてもらう。この梅小路公園の隣には蒸気機関車館もあるし、水族館の建設の計画もあってさらに楽しいスペースになりそう。その足で市民派議員レポートの校正原稿を持って伏見の共同作業所福祉工房P&Pに。障がいを持つ利用者がパソコンで名刺の作成や印刷の仕事をしている。実習生も来ていて和気あいあいと真剣に仕事中。年賀状の印刷のご用命をよろしくね！

夕方は、民主・都みらい市会議員団の予算要望作成チームと作業。14人の議員が各行政区の地域要望も含めて所属する委員会の分野ごとにまとめた項目などを点検。市民のみなさんからも寄せてくださいね。

5日（水）

アメリカ大統領選挙で民主党のバラク・オバマ上院議員が勝利。YES WE CAN！、やりましたね！初めての黒人の大統領の誕生。そして8年ぶりの民主党政権。時代は変わる！のだ。

ニュースを聞きながら、1970年代、ぼくは岩国や沖縄のコザでベトナム戦争に反対して米軍基地近くでビラを配ったり色々なことをしていたが、黒人兵たちと一緒にブルースを聞きながら公民権運動やキング牧師のことやブラック・パンサー党的なことを彼等から聞いていたのを思い出した。ヒスパニックやアジア系の人種のルツボでもあるアメリカにようやく新時代が到来したのだ。また地域コミュニティで社会活動家としての経験があるオバマが大統領になるということにも感激したよ！

それにも日本は変わらんね！いつ解散総選挙になるのか！

午前中、宮帶出版という出版社や広告美術協同組合の事務所を訪ねたり
自転車でウロウロ。午後は、市民派議員レポートの発送準備で名簿の整理をしたり、
夜は予算要望の作成のために資料を読んだりで一日が過ぎる。

11月4日（火）

連休明けの火曜日。今日は経済総務委員会。伏見消防署跡地活用の請願については、
総合企画局と理財局とともに消防局の理事者も同席。来年鳥羽に移転する消防学校
跡地のことについても伏見区の共産党議員が粘った質疑。行政財産をどう処理する
のかは、課題だね。請願については留保。総合企画局との一般質問でぼくは手を上げ
て、DO YOU KYOTO?という標語について、また環境モデル都市の取り組みその後、
環境にやさしいライフスタイルを 審議する委員会でのコンビニに業界との関係、
また門川市政になっていくつもの審議会や委員会諮問委員会が設置されているが、
女性の登用、市民公募のことも聞きながら今後、議会と各種諮問委員会と行政当局と
の関係のあり方などをいづれ議論したいので各審議会など現状について資料要求を
する。産業観光局については請願2件。先の市会で意見書を提出していることもあり
一件は請願が取り下げられ、陳情になったが、もう1件はすでに汚染米再発防止のこ
とは、すでに意見書を提出しているので請願の取り扱いについては、不採択。一般質
問では中小企業支援緊急対策について質疑があった。

融資など緊急相談110番も開設された。御用の方は211-9311へどうぞ。理
財局では市税の徴収、総務局とは職員の給与カット問題などについて質疑があった。
午後は、議員団の予算要望作成チームとして自治労市職の役員と予算要望について

議論。夕方 7 時過ぎから、吉田神社境内にて吉田剣鉾保存会のメンバーによる剣鉾練習。吉田今宮社の祭り以来 3 週間ぶりか？剣鉾にぼくはハマってしまった。月 2 回の練習にはこれからも参加するぞ！晩秋の夜空を見上げながら剣鉾を挿す。その後、夜も遅かったが、とある大学に派遣社員として仕事をしている友人と雇用問題について懇談。大学の職員の構成の実態や非正規雇用の実情について色々と聞くことができた。

11月3日（月）

11月の連休、好天に恵まれた文化の日、昨年は朝鮮通信使 400 周年記念再現パレードでぼくは雨森芳洲役で歩いた日。散歩がてら、南禅寺門前にある京都市国際交流会館に。今日はオープンデー。様々な催しがされているがなんといっても楽しいのは、留学生などがお国自慢の料理の模擬店を出す万国屋台村。在日コリアンのメアリ会のチジミはもちろん、カンボジアやフィリピン、アルジェリアやメキシコ、タイの料理に舌鼓。わが左京区の花背の野菜や「お焼」の販売もあってよかったです。また京都で国際交流活動を繰り広げている NPO 団体のコーナーやステージでは音楽の演奏など多彩な催し。

京都市の国際交流会会館でオープンしたのは 1989 年だったか、当時委員会で留学生問題や「内なる国際化」をよく議論したものだ。京都に暮らす在日韓国・朝鮮の人々の生活のことを冊子にて発行されたのは 1993 年だったかな？以降、国際交流の拠点として、様々な事業が積極的に取り組まれてきてうれしいね。それから秋は芸術の秋。京都市美術館に。京都・パリ姉妹都市 50 周年記念事業として開催されて

いる「芸術都市パリの100年展」の最終日に。1830年代から第二次世界大戦までのパリを舞台にした作品。ユトリロやルノワールなどの著名な画家の絵もあったが、ぼくはエiffel塔の建設時の写真や、特に鴨川に計画され頓挫したセーヌ川のポン・テ・ザールの橋の絵に惹かれた。当時大きな論争になったが、四条と三条の間にポン・テ・ザールのような歩道橋が出来たてたらよかったですと実はぼくは思っている。帰途吉田山は山頂近くの竹中稲荷のお祭を覗いて吉田山荘のティサロン真古館に立ち寄り、ぜんざいをいただく。気分が落ち着く秋のひと時。吉田山荘はわが下大路町にあり、昭和天皇の義理の弟、東伏見宮家の別邸だったところで東山の美しい景色や庭が綺麗な料理旅館。小学生の頃だったか、火星ちゃんと呼ばれていた常陸宮さんが宿泊されたのを見に行ったことがある。女将が書かれた万葉の詩の書がまた素敵なのだ。京都の紅葉の季節はもうすぐ、真如堂の帰りにでも立ち寄るのはいいよ。

11月2日（日）

快晴の日曜日。「世界の京都・まちの美化市民総行動」ということで市役所前に。市長や市会議長の挨拶のオープニングセレモニー。コカコーラなどメーカーなどで作られているまちの美化推進事業団や市職員や各種団体など162団体3千人を超える参加者。20コースに分かれて出発。ぼくは地元の「吉田山を美しくする会」の一員として参加。好天に恵まれて河原町から丸太町、冷泉通そして川端通を回って市役所前に戻る。ポイ捨てタバコが目に付く程度でゴミはほとんどなし。いわばデモンストレーションだね。準備実行した環境局のスタッフのみなさん、ご苦労さん。その足で、娘が世話になった錦林教会・ペスタロッチ保育園のバザーにいってたこ焼きで生ビール。いい汗を流して美味かった！久しぶりに会う卒園児の保護者らと歓

談。糸井国雄園長とは30年の付き合いになった。バザーシーズンもこれで終わりかな。

午後は南区は東和小学校での「東九条マダン」に。在日コリアンが多く住む東九条でこの行事が始まって今年でなんと16回目。第1回からほぼ参加しているのだ。グランドの中央を舞台にしてライブやマダン劇、朝鮮相撲のシルムや和太鼓の演奏、そしてチャンゴを先頭にサムルノリ。周りにはチョゴリ試着や車イスの体験コーナー、障がい者の作業所の作品展示や焼肉やチジミなどの模擬店が並び縁日の風景。ええ感じやね。まさに共生のまちの「マダン（ひろば）」。ぼくには、このマダンで年に一回合う友人等がたくさんいる。多くの友人に会ってよかったです。夕方は、在日の友人と映画「パッチギ」を話題に民族教育のことについて色々と懇談。

11月1日（土）

今日から11月の三連休。一年は早いね。朝10時前、錦林コミュニティセンターの屋内体育施設で第11回目の「人権ひろば錦林のつどい」。人権と共生のまちをつくろう！と継続してきた。岡崎中学校の吹奏楽部の演奏の後、開会式があり、今年は伊丹市社会教育委員会長などで人権問題に取り組んでいる元気なコリアンのオモニ、金慶子（キムヨンジャ）さんが「違いを認めあえる社会をめざして」と吉本の漫才師のノリで講演。自分の生き立ちや両親のこと、子息の指紋押捺のこと、地方参政権のことなど、明るく面白く、また真剣に在日を取りまく日本の社会のことを熱く語られた。前原議員も最後まで熱心に講演を聞いていたのが印象的。児童生徒の人権に関するポスターや作品や識字教室での作品、錦林まちづくり推進研究会の資料等も展示されていた。かつては隣保館と呼ばれてきたコミュニティセンターの活用や運営は

京都市にとってもこれから大きな課題。

午後は、民主党京都府連常任幹事会。「常在戦場」といっても解散・総選挙が遠のいて気が抜けた。すでに選挙事務所を構えた候補者もいるから事務所をどうするか深刻。兵糧攻めだよね。この12月が選挙になる宇治市長選挙は、現職の久保田勇氏を推薦することに。また宇治市会議員の補欠選挙も行われることになりそうで、その候補者に保育士の真田敦史君を推薦候補とすることも決めた。弱冠32歳、初々しく決意表明。各委員会から報告などもあって2月に延期された結成10周年記念パーティも先送りになりそう。

夕方は、長年の友人スタッフ・フォーワンの堀内隆喜君来所。この3年ほど京都の色々な祭りを撮影ってきてストックができたという。祇園祭や葵祭に時代祭に社寺仏閣、なかなかの出来栄えだ。京都の観光振興に役立てたいという想いを語る。どう発信するのか、これから楽しみ。がんばってや！